

# 上越市議選

上越市議会議員選挙当選者（敬称略・年齢は投票日当日）

当	氏名	投票数	年齢	新	当選回数	所属
当	滝澤 陽一	3,800 票	55歳	新	当選1回	無所属
当	宮越 馨	3,452 票	82歳	現	当選2回	無所属
当	ストラットン 恵美子	3,033 票	51歳	現	当選2回	無所属
当	草間 和幸	2,773 票	47歳	新	当選1回	無所属
当	関川 信之	2,766 票	62歳	新	当選1回	無所属
当	平良木 哲也	2,646 票	66歳	現	当選5回	共産党
当	山本 佳洋	2,628 票	52歳	新	当選1回	無所属
当	橋爪 法一	2,621 票	74歳	現	当選6回	共産党
当	安田 佳世	2,508 票	33歳	現	当選2回	無所属
当	宮崎 朋子	2,483 票	58歳	現	当選2回	無所属
当	熊倉 隆将	2,478 票	34歳	新	当選1回	立憲民主
当	高橋 浩輔	2,454 票	58歳	現	当選2回	無所属
当	橋本 洋一	2,450 票	70歳	現	当選3回	無所属
当	石田 裕一	2,450 票	61歳	現	当選4回	無所属
当	大島 美香	2,436 票	42歳	新	当選1回	無所属
当	高山 優子	2,317 票	59歳	現	当選2回	無所属
当	飯塚 義隆	2,252 票	73歳	現	当選6回	無所属
当	滝沢 一成	2,177 票	67歳	現	当選5回	無所属
当	山田 忠晴	2,158 票	58歳	現	当選3回	公明
当	西沢 智子	2,088 票	51歳	新	当選1回	公明
当	丸山 章	2,061 票	69歳	現	当選3回	無所属
当	櫻庭 節子	1,944 票	66歳	元	当選3回	無所属
当	牧井 邦生	1,940 票	39歳	新	当選1回	無所属
当	上野 公悦	1,920 票	74歳	現	当選5回	共産党
当	江口 修一	1,821 票	76歳	現	当選6回	無所属
当	平原 留美	1,801 票	47歳	新	当選1回	無所属
当	小林 和孝	1,797 票	67歳	現	当選4回	無所属
当	伊崎 博幸	1,661 票	41歳	新	当選1回	参政
当	渡邊 隆	1,635 票	57歳	現	当選6回	無所属
当	近藤 彰治	1,588 票	73歳	現	当選8回	無所属
当	降旗 太地	1,527 票	37歳	新	当選1回	無所属
当	本城 文夫	1,490 票	83歳	元	当選12回	無所属
	宮川 大樹	1,372 票	47歳	現		無所属
	今井 孝	1,188 票	54歳	新		無所属
	中土井 薫	1,110 票	60歳	現		無所属
	鈴木 めぐみ	1,087 票	45歳	現		無所属
	奥泉 稔	992 票	67歳	新		無所属
	菅原 深雪	252 票	62歳	新		日本第一
	長崎 泰文	243 票	38歳	新		無所属

# お疲れ様でした！

## 橋爪さん、上野さん、平良木さん 当選おめでとう！

# 馬場ひでゆきの活動日誌

# No.22

皆さん、ご無沙汰です。上越市市議会議員選挙お疲れ様でした。

日本共産党の橋爪法一さん、上野公悦さん、平良木哲也さん、3名全員が当選しました。私も精一杯応援しました。

市民連合・上越の集会に集った本城文夫さん、近藤彰治さん、小林和孝さん、山本佳洋さんも当選しました。とても嬉しいです。選挙の感想は左のとおり。

●ベテラン踏ん張る！

今回の選挙は、新人が多数立候補し、世代交代選挙とも言われましたが、結果としてはベテランの議員さんたちが踏ん張りました。ベテランの議員さんたちには「ご意見番」としての力を発揮していただくことを市民の一人として期待します。

●6番の候補者は誰？

公営掲示板にポスターを張っていない候補者が一人いました（裏に写真在り）。選挙期間中「6番の候補者は誰？」と話題になりました。候補者6番は今

井孝さんで、ポスターは張らず、街宣車も出さず、もっぱらSNSでの発信を続けるといった独自の選挙運動でしたが、118票の支持を集める大健闘、びっくりしました。

今後の選挙運動にも変化の兆しと指摘される方もいますが、そうではなくて、常日頃からの地道な発信があり、その内容がわかりやすく有権者の心に届いたのではないかと思います。

●選挙報道も一工夫！

今回の選挙では、上越タイムスが市民からの声を募り、多数寄せられた「通年観光の是非」「地域の医療体制」を候補者のインタビュー項目に加えました。

上越タウンジャーナルは、ネットですべての候補者の紹介欄に各候補者のリーフレットを張り付けてくれました。いずれも市民の関心に応える試みで工夫されてるなあと思いました。

選挙は終わりでなく始まりです。皆さんの暮らしが少しでもよくなるように私も頑張ります。

# 原発避難 県が検討会設置へ

県は、能登半島地震の課題を検証するために、5月に「有識者会議」を設置する方針を固めました。この会議ではこの度の地震から得られた知見や教訓を幅広く議論し、津波からの避難などの県地域防災計画の修正や自然災害と原発事故が重なる複合災害が起こった場合の避難方法や原発事故時のあり方も含まれるとのことです（4月21日付新潟日報、4月20日付朝日新聞など）。

私は、今年の防災・脱炭素社会特別委員会や一般質問等で、国の原子力規制委員会の広域避難計画の見直しを待たず、県として早期に避難計画の見直しに着手する、そのために避難委員会を再度立ち上げるべきではと問題提起してきました（活動日誌 No.15、No.17 参照）。

これに対する県の回答は、専門的な知識は国がもっているから、国の見直しの結果を待つしかない、とのそっけないものでした。こういう経緯での検討会設置ですので、正直なところ驚きました。

検討会設置につき、県が消極姿勢から積極姿勢に転換した経

緯はわかりませんが、おそらくは2月議会で私を含めた多くの議員が能登半島地震の被害を踏まえて避難対策などを再検討するべきではないかという質問をしたこと、最近の新潟日報でのアンケート調査でも、多くの議員が再稼働に反対或いは時期尚早の意見を述べていること、県

←県の検討会設置の動きを伝える朝日新聞



民の中でも反対や慎重意見が増加傾向にあることなどが影響したのではないかと思います。

今後、他の議員と協力して原発再稼働は反対、避難計画を早急に見直せ、県は住民の意見を聞き、と訴えていきます。

苦しきなのだと分析します。本が丸ごと母親への哀惜の情と無念で貫かれていてジーンときます。そして、その先生の悲しい体験、哀惜の情が、それを読む人の心を癒してくれます。悲しいのは自分ばかりではないのだという気持ちにさせて、落ち着かせてくれる不思議な本でした。

## 私の推し本その10

岡田尊司著『母親を失うということ』（光文社）

岡田尊司先生は有名な精神科医。コロナ禍でお母様を亡くされました。入院したがきつと回復するだろうと思っていた矢先の突然の死の知らせ、コロナ禍で病院に行くにも行けず看取ることもできなかったことを悔やみます。

先生は、母親の死が、「大地が抜けるような喪失感と動揺を引き起こす。」と嘆き、その理由について、母親が自分の人生の始まりから愛着してきた存在であること、だからこそ母親の死は問いかねば応えてくれた存在がもう何も反応を返してくれないということの意味し、それは呼吸できなくなる苦しさに似ていて、いくら息を吸おうとしても、息が入ってこないような



今回の市議選では、私が応援した3名の市議さんたちと一緒に県政・市政報告会を各地で開催しました。皆さん地元で根付いて活動してるなあというのをどこの場所でも感じました。また、「活動日誌を読んでいるよ」「これからも頑張ってください！」など私にもメールを送ってください方もいて嬉しくなりました。2年目も頑張ります。

そこで、3月に事務所で開催した「馬場とおしゃべり会」、今年は市内各地にお邪魔します。少人数でも構いません。私の活動も知ってもらいながら、皆さんからの身近なお話もたくさん聞かせてください。

ご希望の方はいつでも事務所 ☎025-546-7110 までお電話ください。



立候補者のポスターを掲示した公営掲示板。 候補者6番は誰？

発行責任者：馬場ひでゆき事務所  
住所 新潟県上越市本町3丁目3番3号  
ダイアパレス高田式番館3階  
電話 025-546-7110  
ファックス 025-546-7666  
メール kengi-babahideyuki@wind.ocn.ne.jp